



デル・テクノロジーズ ニュースレター

2024年 第2四半期 (5月~7月)

ご挨拶

デル・テクノロジーズ広報部門より、私どもの第2四半期である2024年5月から2024年7月までの活動について、ご報告させていただきます。

今期は、5月下旬に米国ラスベガスにて、弊社最大のイベントである「Dell Technologies World 2024」を開催し、さまざまな製品、ソリューション、パートナーシップを発表しました。特に、今回はイベントのサブタイトルが「AI Edition」となるほど、生成AIに関する多くのアップデートがありました。今後も先進的かつ積極的な取り組みをお伝えしてまいります。

その他の活動については、当ニュースレターにてご紹介させていただきます。

引き続き、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

デル・テクノロジーズ株式会社
広報部一同



Masashi
Shimbo



Yoshinori
Okada



Aya
Takemura



Ayaka
Watanabe

[5月] 米国ラスベガスにて、「Dell Technologies World 2024」開催 [6月] Dell Technologies World デブリーフィング実施

5月20日から23日まで米国ラスベガスで、「Dell Technologies World 2024（以下DTW）」を開催しました。創業から40周年を迎えた今年のテーマは「Accelerate AI adoption to unlock innovation」（AI導入を促進しイノベーションを解き放つ）。様々な「AI」にフォーカスした発表を行い、基調講演では多くのパートナー様が登場しました。[イベント概要](#)

また6月18日には、日本のメディアの皆様へDTWの発表内容を改めてご紹介するデブリーフィングも実施しました。上席執行役員の藤森綾子が、自身の経験を踏まえて現地での様子を「まさにAI一色だった」と語りながら、イベントの盛り上がりをお伝えしました。

さらに第二部として、サーバーの液冷の仕組みについてご説明する実機紹介、ラボ見学ツアーも実施しました。「PowerEdge」サーバーの中身をご覧いただき、空冷、水冷の仕組みの違い、サーバーを液体に浸けて冷やす液浸の仕組みもご覧いただき、参加者の皆様へ高いご関心をお寄せいただきました。

最後に、「PowerEdge」サーバーのカプセルトイ（ミニチュア）をノベルティーとしてお持ち帰りいただきました。参加者の皆様、作っていただけましたでしょうか！



多数のメディア様にご参加いただきました



サーバーの実機をご紹介する、データセンター ソリューションズ事業統括 システム周辺機器部 シニア プロダクト マネージャー 水口 浩之



上席執行役員システムズ エンジニア
リング 統括本部長 藤森 綾子



専用オイルに浸かり、液浸冷却中のサーバー



「PowerEdge」
サーバーの
ミニチュア

パッケージ型ストレージブランド「PowerStore Prime」 日本での提供を開始 / 記者会見を開催

7月3日、パフォーマンスや機能を最大限に向上したハードウェアに加え、各種サービス、サポート、サブスクリプションの選択肢などを加えた、パッケージ型の新しいストレージブランド「PowerStore Prime」の日本での提供を開始しました。当日は記者発表会を実施し、機能紹介などをご説明させていただいた後、実機をご覧くださいツアーも交えて、参加者の皆様にストレージを体感していただきました。 [プレスリリース](#)



冒頭では、ストレージの歴史を振り返りました



「PowerStore」の中のコントローラーもご覧いただきました



左：ストレージプラットフォームソリューションシステム本部 ディレクター 森山輝彦
右：カスタマーソリューションセンター シニアソリューション アーキテクト 田中千絵



ラボツアーも実施しました



レゴブロックで作った「PowerStore」ストレージ



お客様事例の紹介

デル・テクノロジーズ、PayPay銀行の共通基盤を 従量課金型インフラサービス「Dell APEX」で構築

6/17、PayPay銀行の共通IT基盤を、「Dell APEX」で構築したことを発表しました。今回の導入においては、「導入から10年間のインフラコストを数億円相当の約1/3削減」「新規システムのハードウェア導入期間を約半年から約1カ月に短縮」などの運用効果を実現しています。



大成建設のデータ利活用の根幹を担う全社統合 ファイルサーバーを「Dell PowerScale」で刷新

5/27、今回の刷新により、大成建設株式会社は、「サーバーの記憶容量を2倍に増強」「圧縮・重複排除機能でデータ容量を約1/3削減」「ストレージ設置のラックスペースを約1/2に縮小」「AIを活用したサイバー攻撃対策の強化」などの運用効果を実現しました。



AIを支える各種ソリューション

「Dell AI Factory」を発表 AI主導のイノベーションを高速化

5/20に発表した「Dell AI Factory」の基盤は、クライアント デバイス、サーバー、ストレージ、データ保護、ネットワークを網羅したデル・テクノロジーズのエンド ツー エンドのポートフォリオで構成されています。AIに対するニーズの高まりに応えるように構築した専用の新たなソリューションによって、今回のポートフォリオをさらに拡張しています。



「Dell AI Factory with NVIDIA」の拡張により AIの導入を一気に加速

5/20に発表した「Dell AI Factory with NVIDIA」は、デル・テクノロジーズのAIポートフォリオと「NVIDIA AI Enterprise」ソフトウェア プラットフォームを統合したものです。お客様は、事前検証済みのフルスタック ソリューションを購入して、検索拡張生成（RAG）やモデル トレーニング、推論といった高速パフォーマンスが不可欠なAIのユースケースを進めることができます。



通信ビジネスの強化

デル・テクノロジーズとエリクソン、 戦略的パートナーシップを発表 通信ネットワークのクラウド変革 を加速

5/23、デル・テクノロジーズおよびエリクソンは、戦略的パートナーシップを発表しました。これにより、両社の業界への深い専門知識と通信ソフトウェア、ソリューション、サポートを統合して提供し、CSPによる無線アクセス ネットワーク（RAN）のクラウド変革を支援します。



目が離せないエッジ分野の注目ソリューション

「Dell NativeEdge」ソフトウェアによって、エッジのAIイノベ ーションを加速

5/20、お客様がエッジでAIを活用する能力を強化するため、NVIDIA社、ServiceNow社、Microsoft社とのコラボレーションを発表しました。また、同時発表の最新のエッジ オペレーション ソフトウェア プラットフォーム「Dell NativeEdge」は、これまで以上に優れたパフォーマンス、拡張性、セキュリティを提供します。

Hyundai AutoEver社およびIntel社と製造業向けエッジ ソ リューションを拡張

4/23、製造業のお客様がエッジでAIの力を最大限に引き出すことを可能にする、製造業向けエッジ ソリューションとインフラストラクチャーのポートフォリオを発表しました。

Copilot+ PCを順次提供開始！！

5月17日に開催された「Dell Technologies World 2024先行ウェブキャスト」において、急速に注目が高まるAI・生成AIに対応したCopilot + PCを発表しました。6月以降に個人向けおよび法人向けのモデルとして、「New XPS 13」、「New Inspiron 14 Plus」、「New Latitude 7455」を順次販売開始しま

した。これは、デル・テクノロジーズが提唱している、[Dell AI Factory](#)によるAIデバイスおよびAIインフラストラクチャー ソリューション提供の一環として、Qualcomm Snapdragon® X EliteおよびSnapdragon® X Plusプロセッサを搭載した最新のノートPCとなります。

今後のAIに関連したデル・テクノロジーズの動向にぜひご注目ください。



デル・テクノロジーズのCopilot+ AI PC

Snapdragon X Eliteおよび Snapdragon X Plusを搭載した新しいAI PCが卓越したパフォーマンス、画期的なバッテリー駆動時間、優れたAIエクスペリエンスを実現

- 画期的なバッテリー寿命により、バッテリー切れを心配せずに検索、作成、通信などが可能。
- 毎秒45テラ演算（TOPS）のNPUにより、AIタスクをより効率的に実行。
- オンデバイスのCopilotを使用して独自のコンテンツを検索すると、瞬時に結果を得ることが可能。
- インターネット接続やクラウドを気にする必要がないため、業務やエンターテインメント用途において、よりシームレスでアクセスしやすいセキュアなタスクの実行が可能。



「New Inspiron 14 Plus」、 「New XPS 13」、 「New Latitude 7455」

企業のイノベーションに関する調査結果を調査 生成AIやサステナビリティへの取り組みや意識について

世界40カ国のITおよびビジネスの意思決定者6,600人を対象に実施した『[Innovation Catalyst](#)』調査結果では、81%（日本：70%）が、生成AIとAIが将来的に幅広い業界を大幅に変革すると考えていることが明らかになりました。また、生成AIが持つ変革的な力や大きなポテンシャルとして、ITセキュリティ体制の強化、生産性の向上、顧客体験の向上を挙げています。また、[本調査のAPJ地域（アジア太平洋および日本）におけるIT部門の意思決定者とビジネス部門の意思決定者1,900人からの回答](#)によると、最も重要なイノベーションの目標上位5つのうちの1つとして、38%（日本：31%）が環境面においてよりサステナブルになることを挙げています。

調査結果（完全版）：<https://www.dell.com/ja-jp/dt/perspectives/innovation-catalyst.htm>



2024年の第1四半期の業績発表

[デル・テクノロジーズ、当会計年度第1四半期の業績を発表](#)

第1四半期（2024年2月～2024年4月）の売上高は、前年同期比6%増の222億ドルで、営業利益は前年同期比14%減の9億2,000万ドルでした。

CFO（最高財務責任者）、イヴォンヌ マクギル（Yvonne McGill）は、「引き続きAIが新たな成長を促進する中、当四半期も私たちは強力なキャッシュフローを生み出す実行能力を示すことができました。売上高は6%増の222億ドル、サーバーおよびネットワークの売上は42%増で、過去12カ月間にわたって79億ドルの営業キャッシュフローを生み出しました」と言及しています。



その他コラボレーションや最新情報

- [デル・テクノロジーズ、Forrester社の最新調査レポートの結果を発表 —— デル・テクノロジーズのAIインフラストラクチャーに高い評価](#)
- [エンタープライズAI体験を拡張](#)
- [デル・テクノロジーズ、エンタープライズ環境のAIを簡素化する「Dell AI Factory with NVIDIA」を発表](#)
- [デル・テクノロジーズとRed Hat社が、AIの「複雑さ」を「チャンス」に変換](#)
- [AI時代のサステナビリティに向けたエンド ツー エンドのアプローチ](#)
- [デル・テクノロジーズのAI分野におけるパートナーシップに関する最新海外情報（2024年7月）](#)

What's coming next...

『Dell Technologies Forum 2024 – Japan』
2024年10月3日（木）に開催



＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

デル・テクノロジーズ株式会社

広報部： 新保将 武村綾 岡田吉功 渡辺絢香
jpcorporatecommunications@dell.com

ニュースルーム



ブログ



Follow Us!



DELL Technologies